

宇津木緑地保全地域

場所: 八王子市宇津木町 面積: 約 52,402 m²

平成4年、東京都の保全地域に指定された宇津木の森は、市街化が進む地域にあって守られている貴重な自然地。区域のほぼ半分はコナラ、クヌギの雑木林が分布し、そのほか、スギ・ヒノキ林、モウソウチク林、アズマネザサやスキの草地、果樹園、畑などが散在する変化に富んだ植生です。



森の特徴

| | | | |
|--|--|--|--|
| | <p>萌芽更新地 クヌギ・コナラ・エゴノキなどの雑木林。昔は15～20年に1回、根元から切り倒し、薪や炭、シイタケ栽培に利用していた。</p> | | <p>栗林 栗の木がきれいに並ぶ栗林。ここにある道具小屋は、板倉と呼ばれる伝統的な工法で、ボランティアの手で建てたもの。</p> |
| | <p>草地 昔、畑だった場所。いまはクズが一面に広がるクズ畑になってしまっている。とにかくクズの繁殖力に驚くばかり。</p> | | <p>竹林 竹は成長が早く、地下茎から広がるという特徴をもつ。日本では昔から、農具や工芸、建築などいろんな用途に使われていた。</p> |
| | <p>梅林 5月終わりごろから梅の実がなる。その年によって実がたくさんったりならなかったりするようだ。2月には、梅の花が満開に。</p> | | <p>植栽地1 萌芽更新地の奥、斜面を降りたところ。2000年に、東京都がクヌギやコナラを植えた。里山特有の貴重な植物も残されている。</p> |
| | <p>草地(窪地) セイタカアワダチソウやササが繁茂するが、植物の種類は豊富な様子。藪の中には、希少植物があるようだ。</p> | | <p>植栽地2 森の入口入ってすぐ横にある植栽地。落ち葉を集めて腐葉土をつくったことも。</p> |
| | <p>針葉樹林 窪地の上の斜面にあるスギ・ヒノキ林。木々が混みあい、少し薄暗い。竹も侵入している。</p> | | <p>植栽地3 入口から小道をあがると、見晴らしのよい草地にでる。その一部分にある植栽地。眺めがよく、冬には富士山がきれいに見える。</p> |